

ここいわカフェ 新聞

R2.11号

発行：ここいわカフェ事務局

地域の皆さま、いつも大変お世話になっております。

R2年2月に開催して以来、新型コロナウイルスの影響により中止していますが、感染者が県内でも増加傾向にあり、未だ予断を許さない状況が続いています。

本来であれば10月に開催する予定でしたが、スタッフの話合いの結果、苦渋の選択ではありますが、当面中止することに決定いたしました。楽しみにされていた方々、本当に申し訳ございませんm(_ _)m

その代わりに、定期的に「ここいわカフェ新聞」を発行して、認知症に関しての普及啓発活動、地域の皆様にとって大切な居場所作りを無くさない取り組みをしていきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します！！

～岩切地区認知症ステップアップ講座開催！～



R2.9.18（金）10:00～岩切市民センターにて、岩切地区認知症ステップアップ講座（岩切地域包括支援センター主催）を開催いたしました。以前認知症サポーター養成講座を受講した方も、これからの方も、「さらに認知症のことを勉強したい」と意欲を持って参加されています。

1回目は愛の家グループホーム仙台岩切の木村様をはじめ3名の管理者様にお越しいただきました。寸劇は「ご飯はまだ？」とさっき食べたばかりなのに何度も聞くおばあちゃん、ご飯を食べたことを忘れてしまうおばあちゃんにきつく注意するお嫁さん、認知症のことを理解して優しく対応するお孫さんが登場。本人は本気で食べていないと思っているので、ここで怒ってしまっただけでは逆に反感を買ってしまいます。「今準備するから待っててね。それまでお茶を飲んでゆっくりしてね」と声をかけたり、気分転換に散歩に連れて行く方法もあります。否定しないことが大切ですね！高橋様、木村様からは認知症に関する基本的な症状について、グループホームの利用者様の様子や対応の仕方を分かりやすく教えていただきました。日常生活の場面に合わせてのお話だったので、イメージしやすかったと思います。最後に包括からの事例提供で、①雨の中傘も差さずに歩いている認知症の方を見かけた時、あなたはどうしますか？②ゴミの日を間違えて出している認知症の方、夏なのにセーターを着て冬のような



恰好をしている。あなたはどう対応しますか？と2つの事例を参加者の皆様に考えていただきました。「優しく声をかける」「包括につなげる」と回答されていたので、ばっちりでしたね！

2回目（R2.10.16）のいずみの杜診療所の川井様、認知症当事者の方のお話は次回ご紹介致します。

❀愛の家グループホーム仙台岩切❀ (事業所紹介)

愛の家グループホーム仙台岩切は、今市上区の中にある平屋建ての施設です。認知症をお持ちの方27名が、3つのフロアに分かれて生活しています。認知症があってもできることはご自分で、できないところはスタッフがさりげなくサポートすることで自信を持って生活できるようお手伝いさせていただきます。



左の写真は、先日敬老会を行った時のものです。記念の賞状を受け取っているのは、90歳の卒寿の方です。新型コロナウイルスの影響により外出の機会も地域との交流も以前と比べ減ってしまいましたが、できる限り入居している方に笑顔や楽しい出来事が増えるようスタッフ一同取り組んでいます。

楽しみごとの一つとして、一つのフロアでは毎月テーマを決めてカフェを開いています。今のテーマは、『各地の美味しいものを、食べに行けないなら作ってしまえ!』です。先々月はイタリアへ。先月はブラジルへ。今度は国内の美味しいものにするとのこと。入居者様とスタッフが一緒になって、作ることも含め楽しんでいます。



グループホームは、認知症をお持ちの方ができるだけ当たり前の生活ができるようお手伝いさせていただくところです。認知症をお持ちの方、そのご家族様で興味を持っていただけた方、聞いてみたいことがある方はいつでもご連絡ください。

愛の家グループホーム仙台岩切 管理者 木村卓史 ☎396-3533

* 編集後記 *

ここいわカフェ新聞第1号でしたが、皆様いかがでしたか?開催できない状況が続いており、このままどうなるんだろう?と不安な気持ちで過ごしておりますが、しばらくはカフェの代わりに広報誌で情報発信していきたいと思っております。運営スタッフから認知症に関する情報をお届けすることがメインになっていきますが、岩切地域にお住まいの方でも「こんな特技があるから紹介したい!」「高齢者でもこんなに元気な方がいるから紹介したい!」などの情報がありましたら、**ここいわカフェ事務局(岩切地域包括支援センター ☎022-255-2524 平日 8:30~17:00)**までお気軽にご連絡下さい。どうぞよろしくお願い致します!(臼澤)